

『生徒の学びの姿』見取りシート」の活用方法

「生徒の学びの姿」見取りシート

氏名()

目標

授業者が設定した授業の目標を記入する。

○生徒の学びの姿を中心に授業を参観し、授業後協議を行います。

①：「主体的に学習に取り組む態度を養えたか」「(授業者が設定した)授業の目標を達成できたか」という視点で授業を参観し、授業中に見られた生徒の学びの姿を「生徒の学びの姿」の欄に記録してください。

②：①の生徒の学びの姿を引き出した指導の工夫や、生徒の学びの姿をよりよくしていくために有効だと考えられる指導の工夫を「指導の工夫等」の欄に記録してください。

○主体的に学習に取り組む生徒の姿の例

- ・課題(疑問や問い)について資料と向き合いながらじっくりと考えている。
- ・試行錯誤しながら自身の学習方法について模索している。

参観しての気付き

| 場面 | 生徒の学びの姿 | 指導の工夫等 |
|--|--|--|
| 授業で見取った生徒の姿と、その姿を引き出した指導の工夫や、生徒の姿をよりよくしていくために有効だと考えられる指導の工夫について記録する。 | | |
| 記入例① 主体的に学習に取り組む態度の「自らの学習を調整しようとする側面」が実現していた生徒の姿とその姿を引き出した指導の工夫に関する気付き | | |
| ・生徒が自身で情報収集を行う場面 | ・自身で資料集から情報を収集したり、他者と考えを共有したりしながら、自身に合った学習の進め方を工夫する姿 | ・すぐには答えられないような課題の設定 ・安心して学習方法を選択できる雰囲気づくり |
| 記入例② 主体的に学習に取り組む態度の「粘り強い取組を行おうとする側面」についてよりよい生徒の姿を目指すために必要であると考えられる指導の工夫に関する気付き | | |
| ・生徒が自身で考察する場面 | ・すぐに正解を求めようとする姿 | ・思考したり自身の考えを整理したりする過程が大切であると生徒に伝えること |